

伊吹山高山植物と関ヶ原鍾乳洞

活動報告 6 班

- ◆ 実施日 2023 年 7 月 28 日 (金)
- ◆ 天候 晴
- ◆ 参加人員 59 名
- ◆ 集合場所 JR 高槻駅前 8 ; 20
- ◆ 行程 高槻駅前発 8 ; 30 → 高槻 I C → 黒丸 P A → 関ヶ原 I C → 伊吹山山頂駐車場
11 : 20 → 班ごとに散策 (西コース) 徒歩 山頂着 12 ; 40 (昼食、班長会議) 下山開始 (東コース)
徒歩 駐車場 14 ; 40 → 関ヶ原鍾乳洞見学 (30 分) → 関ヶ原 I C → 草津 P A →
高槻駅前解散 18 ; 20



滋賀県と岐阜県にまたがる伊吹山 (1377m) と関ヶ原鍾乳洞を散策するバスツアー

2 台に分乗し 霊峰を目指し出発 山頂付近はさすがゴロゴロ石で歩きにくいが見下ろせば琵琶湖はじめ絶景が広がり涼風に身体を休め 下山開始 高山に咲く花と薬草を観察し ふりむけば石灰岩独特のカルスト地形が広がり 次はこれにつづく関ヶ原鍾乳洞を目指した。

鍾乳石が発達し石筍と織りなす奇岩は 500m 続き、古生代と現代を繋ぐ鍾乳洞は圧巻でした。



【みんなの所感】

- ・岡田講師が事前に用意して下さった花図鑑。 64 種類のうち 41 種観察でき嬉しかった。
- ・伊吹山の鹿の食害は予想を超えるものがありました。
あの状態を見て、現実の生活の中で私たちにできる事は何か、今の生活を少し見直す必要があるとおもいました。なんとか元に戻そうとしているボランティアの方には頭が下がりました。 10 年かけてやっと網のなかのシモツケソウがあのように復元されているのを見、登山道を常に整備されている事を知り、ありがたいなあと思いました。
- ・山口の秋芳洞には及びもつかない、小さな関ヶ原鍾乳洞でしたが、伊吹山が石灰岩で出来ているのがよく分かりました。
- ・花の少なさに驚きました。 鹿が花も芽も食べる、日本中の食害の問題。